



社報民きわい (第一八三三號) 毎月一日発行 已克銀千八百圓 日刊 昭和二十一年十一月一日

性病科 矢吹醫院 平市鎮田町(元白土病院) 電話二八八番

縣市民稅賦課率決定

最低納稅者で年三十三圓余

地方制度の改正に伴ふ市民稅、六十圓として最低納稅者の率は、縣民稅の賦課額は八日の市會で四十圓の三分の一、十三圓三十分は賦課總額の三分の一を均等國で合計三十三圓三十分が賦課、三分の二を資力割とし納稅課される事になる、最高額は前義務者の生活並に業態の状況に依る生活並に業態の率に依り賦課、依り納稅の之を賦課す」とあり課される
市民稅平均四十圓 縣民稅平均

自動車兩修理工場と農機具兩購入輸送へも

引揚者磐城聯盟の新規計劃

引揚者相互の生活救済と更生を目的として種々活潑な運動を開始した磐城聯盟では資本金三十余萬圓を投じて自動車並に農機具修理工場をはじめトラクタ三臺を購入、輸送にも一肌加す郡内八名の引揚者を中心とし失業救済にも一役買ふべく計劃を急いでいるが各方面から多大の期待をかけられてゐる

切符制限

局外一帯に四割 近距離は一割を十日からのダイヤ改正に平驛では切符の發賣制限を實施するにも車内持込の荷物制限をはじめ改札の強化に力を出すことになつた、發賣制限は東北、常磐、局外四割で近距離局内のみが一割と決定、方法は従来の申告制と順次發賣の二本建とするに決した

生存者

郡關係は九名 去る六日名古屋に入港したレイノ島の初級船員船により、タクロパン收容所に收容されてゐる郡人の生存者名簿が明らかとなつた、右によると左記九名とある
坂本久(鹿島)阿部伴四郎(湯本)伊藤喜六(磐崎)木下烈(小名濱)鈴木正男(豊間)阿部信義(夏井)鈴木五郎(四倉)鈴木吉(植田)加藤平之助(澤渡)

局長賞に輝く平驛

平驛は二ヶ年無事故の優良驛として十日栄えの東鐵局長賞を授けられる、同驛では初の國鐵賞獲得を目指し鐵道美化運動をはじめ踏切強化運動を展開する

平釣人會(假稱)いよく結成

魚族愛護其他 盛澤山な事業 平市内の釣愛好家盛澤山、八木善吉、佐藤治郎の諸氏が、かねて釣會を平釣人會(假稱)を設立すべく寄り、協議中であつたが、今回いよく設立に決定、事務所を平市南町四一古川興業有限會社内に置き會員を募集中である。(申込書は本日の本紙二面に掲載)事業としては釣に關する研究、知識の普及、會員相互の親睦と教養を深め、積極的に河川、湖沼の魚族愛護の施策と本邦釣界の經驗豊富な知名の士を囑託し、研究会、講習會、季節的釣大會等を開催する外、釣人の爲め適切な事業を行ふ方針で釣同好者より多大の期待をかけられてゐる

一列車で新米七俵

今朝の列車取締り收獲

食糧の増産にも拘らず依然新米の買出しが絶えぬので、平驛では断乎九日午前二時三分着上り二六六列車の一齊取締りを行つたところ驚く勿れ米七俵、魚類七十貫、りんご二百貫の收獲をみた、今後も随時取締りを行ひ悪質者は厳罰處分する

京染部新設

永い間御不自由をお掛け致しました、今度京染見本各種取揃へましたから一般更生品染色加工を御用命願ひます
御相談に應じます
平市南町大通

京屋染工場

配給の適正に 委員會を結成
自轉車、リヤカー及びタイヤ、自轉車關係者が

列車時刻改正

こんどの運休や時 變更で十日から列車の運轉時刻が變更されるが平驛中心の時刻改正表左の通り○印は平着列車

常磐線上り				常磐線下り			
平發時刻	始發	着驛	平發時刻	始發	着驛		
準急 0:30	青森	上野	3:55	上野	青森		
5:00	平	上野	5:34	湯本	仙臺		
5:55	平	水戸	7:22	勿來	平		
7:37	宮岡	上野	7:58	水戸	仙臺		
8:55	原町	平	9:46	土浦	平		
10:50	仙臺	上野	13:40	上野	仙臺		
14:10	仙臺	上野	15:20	平	宮岡		
17:00	平	土浦	16:49	上野	仙臺		
18:40	仙臺	湯本	18:30	水戸	平		
20:20	平	勿來	20:15	上野	原町		
21:54	仙臺	平					

磐越東線上り				磐越東線下り			
平發時刻	始發	着驛	平發時刻	始發	着驛		
7:27	郡山	郡山	5:45	郡山	郡山		
8:41	小川郷	小川郷	7:51	小川郷	小川郷		
12:55	郡山	郡山	11:20	郡山	郡山		
16:27	小川郷	小川郷	15:32	小川郷	小川郷		
18:29	郡山	郡山	16:53	郡山	郡山		
21:31	小川郷	小川郷	20:22	小川郷	小川郷		

御厩に四人組強盗

夫婦喧嘩の眞最中に

内郷町大字御厩橋掛小野満治さん方で去月廿日夜夫婦喧嘩の最中四人組の強盗が押し入り棒で脅迫、満治さんが駐在所へかけつけた際に妻ヨシ子さんを脅かし服、シャツ、靴下などを不良青年の仕業とらんで犯人を御厩に隠します

新設電話

五五六番 平市彌宜町二七
丸一製材工場 瀧口 豊
自宅電二九〇番

言寸きわ

今朝の列車取締りでは新米七俵を始めりんごや鮮魚類の收獲も大に増え、食糧の増産にも一役買ふべく、きこの結果を生んだのも、取締りと共に配給の迅速圓滑化を図ることが肝要、十日から列車も減らし切符の制限も實行される、手洗ひとこが殺人列車の混雑さが一層加はると思ふとソツとする、母體な天氣がつよく、收獲期だけに心にかゝる、早く回復して欲しいもの

長男正夫儀 申支にて戰病死致し候條茲に生前の御厚誼を拜謝し此段御通知申上候
追而送葬の儀は十一月十五日午後二時自宅出棺佛式を以て執行可致候
昭和二十一年十一月八日
石城郡湯本町
父 吉田 恭平
外親 戚一同

父橋田榮太郎、母ミツ、妻トキ、長女喜美子、長男正二、二女惠美子、二男翼弘、三女佳子儀
昭和二十一年三月十日死亡致候當時小生不在中なりし爲め各位の御厚誼により假埋葬中の處道成儀員致し候に付きは來る十一月十日午後一時から二時まで平市長崎町性善寺に於て本葬執行可仕候茲に謹て生前の御厚誼を深謝し此段御通知申上候
尚ほ時節御供物等の儀一切堅く御辞退申上候間不勝御誠
昭和二十一年十一月
東京都澁谷區山下町二十四番
嗣 子 榎田 忠義
葬儀委員長 猪俣 廣

弟武夫康男儀 昭和二十年十月及十一月何れも中支方面に於て戰病死致し候處この御遺骨到着仕候間左記により途中葬列を廢し告別式を相替み度此段御通知申上候
一、昭和二十一年十一月十二日(火)午後一時より二時迄
一、平市長壽寺
昭和二十一年十一月
平市六間門
兄 鈴木 光四郎
親戚 上松 田 耕一
總代 田 耕一作

故貞雄儀 葬送に際しては御厚誼なる御中慰並御香奠を賜はり送路難々御厚誼被成下御厚志の段難有深謝候早速御禮申上候此段御通知申上候
昭和二十一年十一月九日
平市南町五二

根本莊次郎
高泉勝次郎
外親 戚一同

冬枯れの野菜割當

出荷組合が各農業會と協力

野菜割當は今漸く解消自由販賣をみるに至つたが、本月末から十二月にかけては冬枯りで再び入手難を告げるとは明白なので平荷受組合では飯野、好間、神谷、大浦、草野、赤井の名村及び市内の農家の協力を仰ぐこととし各村農業會とタイアツ左の如き出荷割當を決定した(單位貫)
○十一月大根二〇〇〇〇白菜二〇〇〇人参牛蒡五、〇〇〇雜菜二、〇〇〇
○十二月大根一五、〇〇〇白菜二、〇〇〇人参牛蒡五、〇〇〇雜菜二、〇〇〇

本月中に三割を

供米部落割當は十日完了

那の供米五萬七千石をめぐり各町村の部落割當は十日を期して完了、十一月中旬三割を完了し、十二月中旬を以て全郡の割當完了の豫定であるが、川前、豊間の兩町は既に供米の大蓋を切りいま各部派對抗の供米戦を展開してゐる

町村制改正記念式典

来る廿七日舉行

石城町村長會では来る二十七日午前十時から市公會堂日本間に町村制改正記念式典を挙行することに決した當日は現町村長に對しての感謝狀贈呈をはじめ各關係者を招待して祝宴をも催す

十月中の引揚者數

内所を引揚した引揚者は百六十一名うち復員二十四名北針十三名一般百二十四名となつてゐる

ビルマ方面の生存者

市内關係は四名
市內關係のビルマ方面生存者は左記四名と判明した
長橋町四五接手近内湖藏、立てあつたが、一引揚者から市内本

木炭増産協議會

平營林署及び地方事務所林産課の草野邦三氏の世話になつて

平營林署及び地方事務所林産課の草野邦三氏の世話になつては本月木炭生産割當四萬六千居ると云ふことを聞きつけ便り依頼是非達成せしめやうと郡内各方向部に市民の苦境を訴へ懇請中だが三坂澤渡方部十日三坂國民校川前十一日(川前國民校)に増産協議會を開催する

高價買入

平市南町平館隣り中央會館
ヨシエさん
いま何處へ
北海道上川郡名寄町四四條南八町目御地彦太郎方土橋榮太郎さんから七日引揚者警城縣連に一通の手紙が舞ひ込んだ、内容は終戦とも五女ヨシエさんが女學校に在學のため家族同伴での避難が出来ず安否を氣遣つてゐるが、一引揚者から市内本

防疫班結成

各區毎に防疫班
市では防疫チフス流行を控へて豫防対策に防疫班、保健所等々の協力をもちめて防疫班を編成をすすめるのであつたと云ふ

實用屏風

二枚折、六枚折、枕屏風
各種入荷致しました
あらゆる百貨問屋
平市六丁目大通り
さかいは商店
新設電話四八五番

十月中の人口動態

市の戸籍面に現はれた十月中の人口動態は出生五十八名、うち男三十一名、女二十七名、死んでくる、従つて他人の姿も哀もつてくる。若し、他人の姿も哀もつてくる。若し、他人の姿も哀もつてくる。



S兄への覺書

松美 不可止

そして君も未だ若い。若いてどうすればよいか。その間いと云ふ事は將來があるから樂願の解決に私は何も言へないし、みではあるがそれだけこれか進むかその何れをとるべからざる苦勞がある事を意味するに過ぎない。何れも言ひたい。苦勞を抜くと世の人が云ふ。但し君に誠意があるならば海千山と云ふ悪い言葉がよい。そして時期を持つならば必らずに苦勞を得た人となる。それが修る。自分が無軌道になれば物事は人に馬鹿にされ馬鹿にもなつてからだん／＼距離が遠くなる。よく考へてみる事だ。つまり反か。そのいやな思ひとつら省と云ふ言葉で自分を返つて見ると、それによつてそこの大きな経験と云ふ學問が生れくるのだ。その學問が大切である。今度りつた時に色々お話をふむのをハツキリと見直すこと

遺族會葬

十七日湯本で
町野殿止後に於ける湯本町の英靈三十七柱の第一回遺族會葬は十七日午後一時半から表町惣善寺で委員長大橋正氏主催で施行される

鏡屋

眼鏡専門
定指眼科各
鏡屋
丁二市平

酒の味

五月小路 健
もう酔はさめていゝ替に替にまだ頭がづきん／＼としてゐる戸をいくらた、いても明けてくれない。室内が眞暗なのは寝たつてしまったのだらうか？ 仲介は、戸をたたいたが返事も無く電気がつかない。それでいよいよあせつてきた。

開店お知らせ

平市橋通小路二五
東京堂書籍部
貸本と賣買を始めました
せいで御利用下さい

小名濱町民各位へ

各位の御聲援に對し重ねて御禮申上す
さて、平市中所屬不明「正を殺し邪を生かすは昭和の正義」云々の仁義交宣傳ハスターの貼布あり其の道の各位に對し非常なる誤解を招きました事に對し組合として誠に遺憾に存じます
右ハスターの貼布に付其の後組合全員にて請求致しましたが誠に御迷惑を掛けた事は誠に申謝次第も御座りませぬ
組合と致しましては御迷惑を掛ける意志は毛頭なく只管御誤解の誤りをお願いして来たばかりにて前述の様な事に關し深く御謝致します

平釣人會假稱設立

戰爭中兎角遠慮無かつた釣が戦前にも増して大いに復興した事は誠に嬉しい、新憲法公布成り今や平和日本建設と謂ふ新しい民族の使命のもとに、新生日本の力強い息吹きを身に感じたいと念ずるのであります。吾等同好の者相謀つてこの度「平釣人會(假稱)」の設立を企圖した、吾等ハスターの貼布に關しては、先づいづれ、只同好の士に楽しく遊びにかけ、加はり余幅の支援と協力を賜はらん事を希ふ次第であります
△入會金十五圓(ハスター代) △會費月五圓(月一回機關紙發行の豫定) △申込期限十一月十五日 △總會開催十一月二十日の豫定
發起人 八木善吉 石川榮 藤羽仁 田原登
安達信一 藪谷喜太郎 佐藤治郎
電話照會の場合は平四三三七・六八九・三〇四
切取つて御利用下さい

申請書

住所 氏名
年齢 職業
昭和廿二年 月 日
私費會に入會を申込みます
平釣人會(假稱)御中
申込所 平市南町四一 古川興業有限會社内